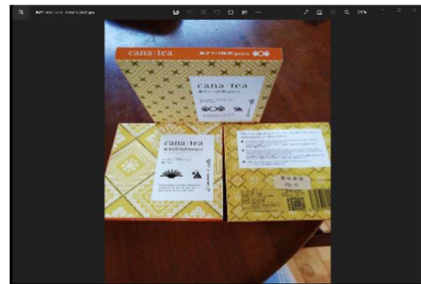


2022年11月号

FP武蔵野グループ

コラボ商品



ファイナンシャルプランナーAFP
柳沢 志賀子

6月に高校時代のバスケ部の後輩から電話をもらった。45年ぶりの電話でびっくりした。なかなか思い出せずにいたが、話しているうちに記憶と共に当時の映像もがよみがえってきた。しばし、懐かしく当時のことや共通の友人のことそして現在のことなどをかたるうちに電話をしてきた理由を話してくれた。

話というのは、彼女は府中で紅茶専門店及び教室サンタマリアを運営して34年になるが、最近では故郷へ恩返しをしたいと思うようになり、還暦の祝いで今年帰郷した時たまたま私の運営する無農薬のしりたむんきゃのハーブ茶に偶然にもであった。彼女は紅茶マイスターの資格をもっており、無農薬の厳選された無農薬のケニア紅茶としりたむんきゃのハーブ茶とブレンドしてみたいという思いが募ってきたそうだ。ハーブ茶のパッケージの製造者の名前に見覚えがあり、もしかしたら先輩かもと連絡をしてきたというわけだ。

コラボ商品を作りませんか？というお誘いを受け、彼女の故郷を想う思いと私の思いがすぐに呼応してとんとん拍子で決まった。

さっそく、月桃茶、グアバ茶、レモングラス茶の3種類の茶葉を試験研究用に送り、紅茶とそれぞれのハーブ茶のベストの割合を調合して奇跡の紅茶作りが始まった。

楽しく挑戦できてワクワクしている。

コラボ商品のパッケージの制作にあたって、大島紬の柄をベースに3種類の薄型箱のパ

パッケージを彼女のデザイナーに頼んで作ってもらうことになった。もちろんサンタマリアとしりたむんきゃのロゴも入れたパッケージのデザインが9月20日に決まった。

9月22日には価格も決定した。

大自然の香りが楽しめるスペシャルブレンドティーを Cana Tea と命名。

Cana (かな) は奄美大島のカナシャ (愛しい) という方言に由来している。友人や恋人、親子などの間柄で愛おしく、大切に思う気持ちを表現する言葉として昔から使われてきた。

加計呂麻産のハーブ茶と濃厚なコクと上質な旨みの特徴のケニア産の茶葉を使用している奄美大島の大自然が味わえる3つのコラボ商品「島月桃紅茶」「島グアバ紅茶」「島レモングラス紅茶」は、全国有名レストランや老舗喫茶店ご用達の紅茶専門店(有)サンタマリアと奄美・加計呂麻島の完全無農薬ハーブを自家焙煎する太陽の島カフェしりたむんきゃと共同開発した最高品質の紅茶が出来上がりました。

11月に東京と奄美で販売を開始した。

これを機会にもう少し紅茶の世界をもっと知ろうと思い、先日より zoom オンライン型授業で、彼女の紅茶初級基礎コースの授業を受けた。知らないことを知ってほんとに楽しいし、まだまだ紅茶の世界も奥深く学ぶことだらけです。

地域活性化のため一つの畑を耕すことから初めてハーブ茶を作り早10年になろうとしている。いろいろな失敗もあったが学びもあり楽しく続けてきている。

最近では、地方へ移住する人たちも増えてきている。その土地の活性化に一役買っている人たちも多い。

2019年初旬に新型コロナウイルス感染症は1例目の感染者の報告がされ、東京での流行は2020年1月から徐々に増えて、パンデミックと言われる世界的な流行となったが、いまだ収束していない。

しかし、世界の人たちはいつまでも下を向いていない。

いろいろなライフスタイルを構築し始めている。オンラインで仕事も学びもできるようになり、同時に2つ以上の仕事を持つ人が増えてきている。

新しいことに挑戦する人に寄り添って、FPの武器(学んできたこと)を手に応援してあげたらと思っています。

以上